



今日のテーマ

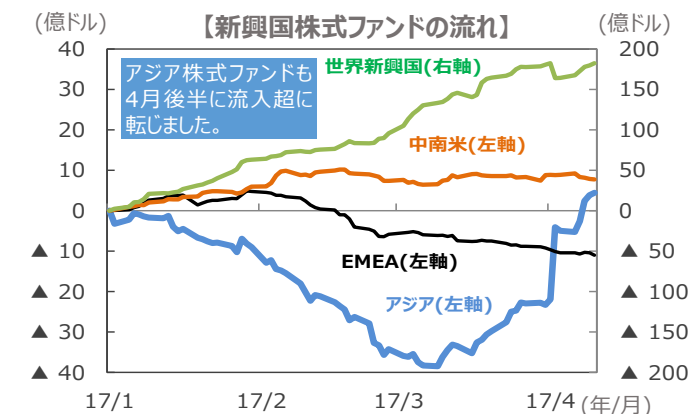
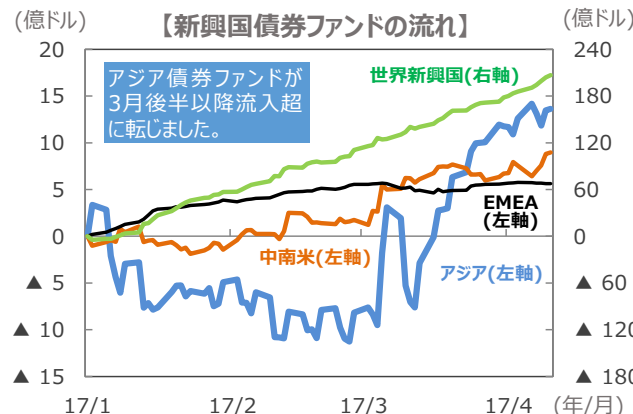
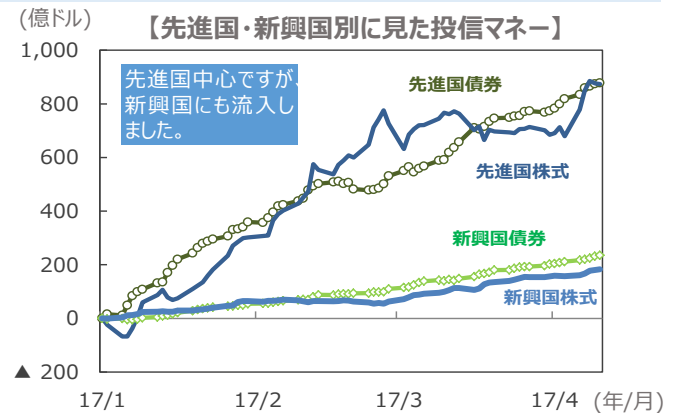
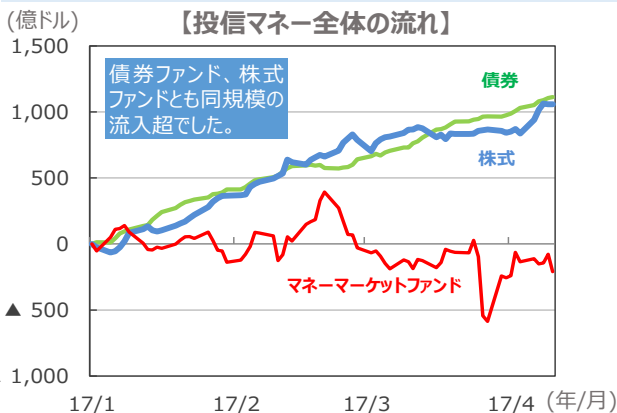


トランプ米大統領就任 100日の振り返り (2)

Q 投信マネーはどこへ流れたのか？

A 先進国では米国に大量に流入しました。新興国では世界の新興国に投資するファンドへ流入したほか、アジア債券への流入が堅調となりました。

- 投信マネーは、トランプ米大統領の就任後100日の間、株式・債券ファンドとも先進国を中心に流入しました。新興国も、債券、株式ともに世界新興国ファンドへ継続的に資金が流入しました。世界的にリスク選好の高まりが続きました。
- 新興国ではアジアに変化がありました。アジアの債券ファンドは3月前半まで流出傾向でしたが、3月後半以降流入超に転じました。世界的な景気回復の中、新興国アジアの経済も回復基調を強めており、アジアへの資金流入が継続すると期待されます。



(注1) データは2017年1月19日~4月28日。1月19日を基準に累積。

(注2) EPFRグローバル：米国を本社に置く金融商品の調査会社。世界新興国は世界の新興国市場全体に投資するファンド。

EMEAは欧州・中東及びアフリカ。分類はEPFRグローバルによる。

(出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。